ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

下都賀地区生涯学習研究会機関紙　第４２号

ネットワーク

平成28年 3月
発　行　下都賀地区生涯学習研究会
事務局　下都賀教育事務所
ふれあい学習課内
Tel　0282-23-3422
Fax　0282-23-3502
Mail:shimotsuga-kyouiku
@pref.tochigi.lg.jp

「地域連携教員」がスタートし、２年目が終わろうとしています。会員のみなさんにおかれましては、それぞれの立場で「社会教育主事有資格者」としての視点を生かしながら関わられていることと思います。

さて、現在、学校・家庭・地域の連携・協働に関して様々な提言がなされています。今後は、地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を総合的に推進していく動きがさらに高まっていくものと思われます。

ぜひ、本研究会でのネットワークや研修の機会を活用し、それぞれの職場で特色ある活動を推進していただきたいと願っています。

今回も紙上をとおして皆さんとつながっていきましょう。

特別寄稿「退任にあたって」

下都賀地区生涯学習研究会顧問、前会長
栃木市立南小学校　校長　赤羽根　久夫

下都賀地区生涯学習研究会の会員の皆様、大変お世話になりました。この３月で退職を迎えます。と同時に研究会も卒業となります。少し寂しい気もいたしますが・・・・。

教育者　森　信三先生がこのようなことを書いています。
「人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅すぎない時に」

人との出逢い、また物事との出会いも必然
しかし、ただ待っていたのでは出逢えるものにも出逢えない
人は一人でできることは限られている
だから、人の力を借りる
自分ができないことを素直に認め
人の力を借りようとしたときにまた、新しい出逢いがある

皆さんとの出逢いも必然であり、運命だったと思っています。今後とも生涯学習研究会の益々のご発展と皆様のご活躍を祈念して退任の挨拶といたします。有り難うございました。

シリーズ「事例から学ぶ49」
「地域とともにある学校」

小山市立梁小学校　教諭　平塚　徹也

「コミュニティスクール元年」として迎えた今年度。本校では、「地域とともにある学校」をスローガンに、地域の方々と協働し様々な取組を行ってきました。中でも、九月に行った運動会の「地域ふれあい種目」の光景は今も忘れることができません。

梁地区は親子三世代の家庭が多い地域です。しかし、ある保護者から、子供たちは地域のお年寄りのことを意外と知らないという言葉を耳にしました。地域と学校がつながるために、まずは「人の輪をつなぎたい」そんな思いから種目を立ち上げました。

内容は、どんな方でも楽しめる玉入れ。学校支援地域本部の方々をリーダーに参加者を募り、迎えた当日。見たことがないほどたくさんの人々が入場門を埋め尽くしました。

学校運営協議会の方々と職員とが協働しての運営、また中学生の参加もあり、地域全員の心をつなぐ、大きな大きな笑顔の輪が校庭にできあがりました。

和やかな雰囲気で行われた「地域ふれあい種目」。学校と地域が一つになった瞬間でした。

ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

リレー「となりの社教主事35」

「地域連携教員として何ができるか」

小山市立間々田東小学校　教諭　熊倉　孝郎

「学校支援ボランティア養成講座を開こう」

これは、地域連携教員として何ができるかを考えていた時に浮かんだことである。

講習の資料を読み返して講座計画を練り、校長先生に指導していただきながら作成した。そして、いざ、募集。しかし、集まったのは二人。そこで奉仕作業時にアピールし、電話で勧誘して16名を集めることができた。

いよいよ開講。自身が講師となり、講習で学んだことをもとに全6回行った。学びが浸透するか不安でいっぱいだったが、受講者の笑顔や熱心な話合いが励みになった。また、ふれあい学習課の秋山貴子先生にも講師としてご協力いただき、自身も学ぶことができた。

「何かやりたい」という参加者の気持ちを高めることができ、この仕事の意義と楽しさを味わうことができた。

次年度は、さらに充実させた活動を目指し、やる気もさらに増している。

雑感

「最近ふと思うこと・・・」

壬生町立南犬飼中学校　教諭　町田　直美

本校では、受験シーズンになると、学習サポートのボランティアの方々が勉強を教えに来てくださいます。生徒達は、わからない所を持ってきては質問し、教えていただいています。このような素敵な企画を考えてくださっているのが壬生町の教育委員会です。地域連携の研修に参加する度に、「自分では何も企画していない 何かしなくては」と気持ちだけが焦ってしまいます。

昨年末に、まずは小中の垣根を越えようという熱い思いを持った地域連携の担当の先生の発案で、親睦会が開催されました。（残念ながら、進路の会議で参加できなかったのですが、次回は参加しようと思っています。）

まずは、我々教職員が、学校という枠を越え、人とのつながりを広げ、悩みや課題を共有し解決していけたらいいなと感じている今日この頃です。

学校を応援したーい9

「下野市自然に親しむ会・きのこ部会のきのこ育成プロジェクト」

下野市　武田　光市

下野市自然に親しむ会では、ホタル部会や昆虫部会、水辺の動植物部会、きのこ部会などの専門部に分かれて活動を行っています。

私の所属するきのこ部会では、きのこ育成プロジェクトとして、壬生町にある「きのこの北研」様の協力を得て、下野市や壬生町の小学校できのこについての講座や、菌床きのこ栽培の体験活動を行っています。特に栽培活動では、参加児童全員分の菌床を用意し、児童一人一人が愛情と責任を持って育てたり、収穫の喜びを味わったりと、人気のプロジェクトになっております。

他の部会におきましても、小学校の自然学習や生物調査の協力、姿川親子自然観察会の開催などを行っていますので、お役に立てることがありましたらご連絡ください。

情報提供

壬生町立壬生東小学校

教諭 岩間 紀憲

第３回研修会報告

去る 2月 2日（火）に野木町公民館において平成27年度下都賀地区生涯学習研究会第3回研修会を実施しました。

今回は宇都宮大学特任准教授の若園雄志郎氏による講話及び、その内容を踏まえての協議「地域活動の充実と絆づくり～地域に貢献する青少年の育成をめざして～」をとおして、地域全体で取り組む青少年教育活動について考えを深めることができました。

改めて関係諸機関の連携やつながりの大切さを実感する研修会となりました。

編　集　後　記

出会いと別れの季節になりました。新たな出会いで人とつながること、現在つながっている人と関係を継続すること、とてもうれしいことです。しかし残念ながら、お別れする人もいると思います。私ならお別れする人にこう伝えたいです、「安心してください、つながっていますよ！」と。この『ネットワーク』で、私たちはつながっています！　(K)